

# 令和 7 年度第 2 回 仙台市中央卸売市場再整備検討委員会

---

令和7年度第1回検討委員会後の検討状況

令和 7 年10月31日（金）

仙台市中央卸売市場

# 1. 令和7年度第1回検討委員会後の協議

■ 令和7年度第1回検討委員会において、令和6年度からの場内事業者と具体的な施設配置、施設規模、基本性能等について協議を重ねた結果の概算事業費と概算使用料倍率を提示した。

- 概算事業費      **706億円**
- 使用料倍率（面積割）  
    水産物部    **1.98倍**      青果部    **3.64倍**      関連部    **1.88倍**
- 委員からはこの倍率の上げ幅であれば、商品に価格転嫁せざるを得なくなり、市民生活に直接影響が出る。使用料を下げるために議論を重ねる必要がある等の意見が出された。

## ■ 検討委員会後の場内事業者との協議結果

- 委員会での意見等を踏まえ、事業費の削減に向けた場内事業者と協議を6月から9月にかけて延べ21回（水産物部14回、青果部7回）実施した。

	水産物部		青果部		関連部		合計（共用部含む）	
	検討委員会	協議後	検討委員会	協議後	検討委員会	協議後	検討委員会	協議後
面積 （㎡）	37,183	36,106	44,435	44,042	9,269	9,471	90,887	89,619
事業費 （億円）	176.9	173.2	242.6	231.3	34.3	30.2	706.0	688.7
使用料 倍率	1.98 (1.51)	1.87 (1.46)	3.64 (2.68)	3.46 (2.57)	1.88	1.80	—	—

※ 倍率の数値は面積割使用料の比較。（ ）内は面積割使用料と売上高割使用料を合算した比較

## 1. 令和7年度第1回検討委員会後の協議

---

### ■ 協議による面積縮減項目

#### 【水産物部】

- 卸売場が7,900㎡から7,000㎡に縮減し、卸の買荷保管積込所も1,580㎡から400㎡に縮減した。一方で仲卸売場の面積が冷蔵庫エリアの設置などにより1,180㎡増えたため、全体では1,077㎡の縮減となった。

#### 【青果部】

- 青果部は、仲卸冷蔵庫が2,020㎡から1,200㎡に縮減し、青果配送センターも8,150㎡から7,720㎡に縮減したが、通路等の共用部が900㎡増えたため、全体では393㎡の縮減となった。

### ■ 協議による基本計画への反映項目

#### 【水産物部】

- 水産配送センターと水産棟の距離を40m程度で配置することで物流効率の向上
- 水産配送センタートラックバースの屋根を12mに延長することで衛生環境及び労働環境の向上
- 水産棟トラックバースから卸売場入口全部及び水産配送センター南側入口に前室を設置することで衛生環境の向上
- 仲卸事業者が水産棟外で使用している冷蔵庫を廃止することに伴う、仲卸売場内への冷蔵庫エリアの設置（冷蔵庫は事業者が整備）

#### 【青果部】

- 卸売場北側の常温保管庫、関連倉庫を卸売事業者で整備
- 仲卸売場内の仲卸冷蔵庫の面積を1,200㎡に縮減
- 青果配送センターを仲卸売場エリアで整備